

# 吉岡元社長を出張尋問

## 「ネコ実験」追及 から原告ら

水俣病の患者、遺族らがチッソ（奇麗次郎裁判長）は三  
会社を相手に起こした損害賠償請求 七、三十一日の前日、東京・神田  
求事件を審理している福本地裁員 の「友愛クリニク」で入院中の



水俣病はもう「ケッコウ」とニワトリも一役買った水俣病原告らのカンパ活動（東京・新宿）

チッソ会社相談役、吉岡啓一氏は三  
出張臨床尋問する。吉岡氏は水俣  
病が社会問題となった三十三年一  
月から三十九年十一月までの間、  
同社の社長をしており、原告が当  
時の同社内水俣病対策や処置に  
ついての証言を求めて証人申請し  
ていた。

尋問には奇麗次郎裁判長、原告、被  
告双方の代理人と原告の患者らが  
立ち会い、三十日と三十一日の午  
前中は原告側が、三十一日の午後  
は被告側が尋問する。この裁判は  
すでに口頭弁論二十回を数え、西  
田栄一・元水俣工場長の証人尋  
問も同時に進められており、審理  
はこれよりやく一晩を越すことに  
なる。

原告側は今度の出張尋問で①工  
場廃液と水銀中毒との関連をいつ  
知ったか②水銀流出の可能性を知  
っていたか③原因究明のための進め

られた「ネコ実験」をなせ中止さ  
せたか④などを追及するとみられ  
るが、合わせて爆発事故や大気汚  
染など水俣工場全体の危険性につ  
いても証言を求める予定である。

西田氏はこれまでの証言で、工  
場廃液と水俣病の因果関係はほぼ  
認められているが、過失責任の点では  
のりくらりと「逃げ」ている。  
このため吉岡氏が最高責任者とし  
て当時、水俣病にどう対処したか  
が焦点となっており、同氏の証言

が注目される。

一方、この臨床尋問に立ち会ふ  
渡辺栄蔵さん（水俣病患者、廣田五  
助会派代表）ら水俣病患者、  
原告十四人と日吉フミコ・水俣病  
市民会副会長、それに「東京水俣  
病を告発する会」の会員らが二十  
九日午後、東京・新宿の「歩行者  
天国」で裁判への支援を求めてカ  
ンパと署名を求めた。水俣病市  
民会副会長のたすきをかけた患者ら  
ちは「水俣病がなくなるならけれ  
ば、日本から公害は追放できない  
い」と訴え、首に「水俣カンパ